

シロズヒラタハバチ

ハチ目ヒラタハバチ科

Pamphilius leucocephalus Takeuchi

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 情報不足

選定理由

分布が局限される、きわめて珍しい種である。

形態

体は腹背が扁平で、頭部は乳白色を呈する。

国内分布

北海道、宮城県、山梨県、石川県、福岡県に分布する。

県内分布

珠洲市若山町洲巻が唯一の産地である。

生態

現在のところ、生活史も食草も判明していない。採集された場所はコナラの疎林内に生育しているササの一種の葉上である。

生息地の条件

里山のコナラ林に生息しているものと推察される。

生存の危機

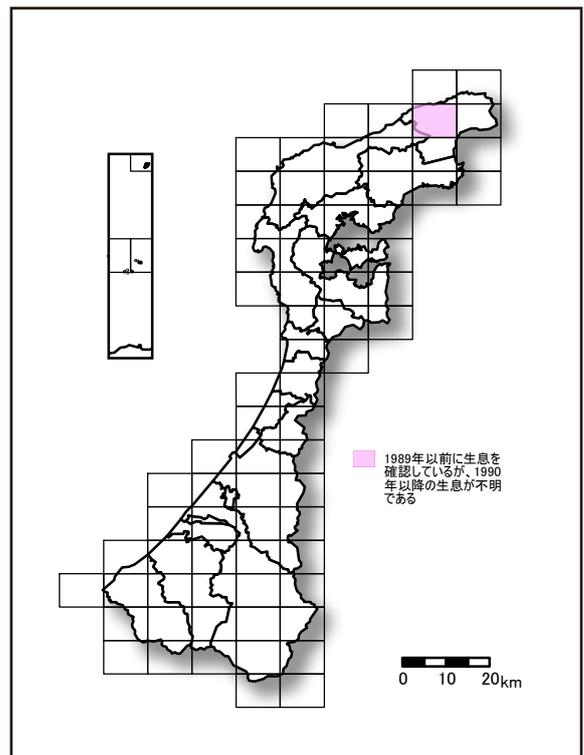
県内唯一の産地である、珠洲市の宝立山麓の開発が進めば、絶滅の可能性が大きい。(A)

参考文献

Takeuchi, K. 1938. A systematic study on the suborder Symphyta (Hymenoptera) of the Japanese Empire (1). *Tenthredo*, 2:173-229.



標本提供者: 富樫一次



県内の分布